※「確かな学力」の育成に向けて、以下の取組をご家庭と連携して取り組みます。

連携

学校

【授業と家庭学習をつなげる】
○授業中に家庭学習につながる声かけをしたり、学習内容等を示したりする。
○生徒自身が更なる問い（もっとやってみよう）を見つけられるような声かけを行う。
○学校で、その日の学習内容について計画を立てさせる。（toyo スタディタイム）
【やる気を引きだす】
○個に応じた家庭学習を出す。（e ライブラリスタディサプリ、チャレンジタイム）
○頑張りを認める。次につながるアドバイスをする。

「家庭ではどのようなことをすればいいか？」方法や内容等を具体的に支援

引用：「熊本の学び推進プラン」
家庭学習のポイント（学校編）
熊本県教育委員会

家庭

【ペースメーカー】
○学習を促したり、生活環境を整えたりすることで、規則正しい学習や生活の習慣形成を支援する。
【サポーター】
○子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりしたときに、アドバイスしたり話し相手になったりして、心の支えになる。
【ファシリテーター】
○教材の準備や学習スペースの確保、静寂な時間の保障などの条件整備を通して、良好な学習環境を構成する。

家庭学習の効果を高める学習環境等、側面からの支援

引用：「家庭学習を習慣化することで育つ
自己マネジメント力を生涯の宝に」
田中博之　早稲田大教職大学院教授
VIEW21 小学版 2013 Vol.3